

海老名むかしばなし 白椿の精

関シタイプロモーション課 ☎046(235)4574

伝説や民話など、市にはさまざまな昔話があります。ツバキが咲く季節に、現在の相模国分寺で起きたと伝わるお話を紹介します。

昔、むかしのお話です。
 国分の薬師様の境内に大きな白椿があつて、毎年白い花をたくさん咲かせていました。薬師様の境内の下には、大山街道が通つていて、大山参りの旅人などでにぎわつていました。白椿が咲くと、街道を行く人たちは思わずその美しさに足を止めてみられるのでした。

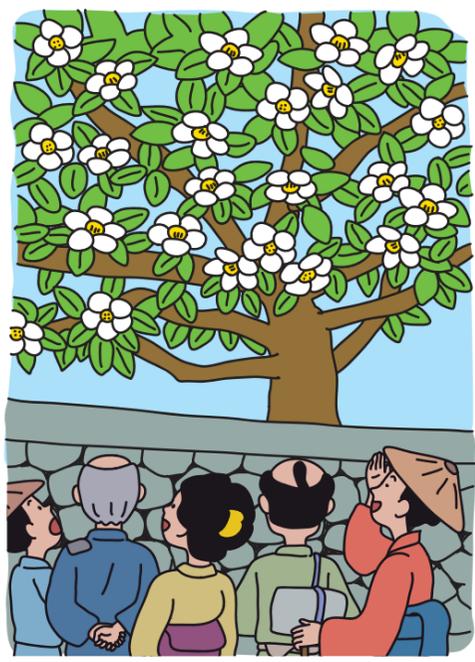
この娘がどのだけか知る人はいません。娘は茶店で一杯のお茶を飲んで休むだけでしたが、不思議と娘が立ち寄る店は栄えて行くのです。

しかし、白椿の花がみんな散つてしまふころになると、ぱったり娘も来なくなつてしまひます。

ある年の春、例の娘がまた現れ始めると、もの好きな若者がある晩、そおつと後をつけましたが、薬師様の石段の途中でぱつと姿が消えてしまひました。そこで、次の晩は針に長い糸をつけておき、娘にいいよ、さりげなく着物のたもとに針を通してそららぬ顔で別れました。

翌朝、その糸をたどつてみると、糸は薬師様の白椿の梢高く続き、針は一枚の花びらにつきささつていました。「さては娘は白椿の精であつたか」と大評判になりましたが、それっきり娘は二度と姿を現すことはなかつたそうです。

今も同じ場所に椿がありませんが、この椿が伝説を生んだ椿か、あるいはその子孫かは定かではありません。



市役所地下売店で、「海老名むかしばなし」第二集、九集を各300円で販売しています。昭和53年〜平成14年の広報えびなに掲載した伝説・実話など約450話を9冊に再編集したものです。

※原文を参考に一部編集しています。



このころ、日が暮れると決まって薬師様の門前の茶店に一人の美しい娘が現れました。黒髪をすっきり後ろに垂らし、きめ細かな肌に薄いすずやかな着物を身につけ、何ともいえないよい香りをただよわせて気品にあふれていました。



1.11 色とりどりの凧が大空に！

県立相模三川公園で「第12回えびな凧揚げまつり」を開催し、参加者手作りの凧などが大空を舞いました。参加者は凧を見上げて、歓声を上げていました。

1.12 年の始めに市の消防力を披露！

消防関係機関が一堂に会し、「令和7年海老名市消防出初式」を開催しました。消防団員の表彰の



ほか、まちの安全・安心を願って特別演奏・消防演技・一斉放水が行われ、その雄姿に見学者からは盛大な拍手が送られました。

1.13 二十歳の門出をお祝い

文化会館で行った「令和7年海老名市二十歳の祝典」で、ことしも旧友との再会を喜び合う参加者の姿が見られました。式典後は実行委員会が企画した抽選会でにぎやかなひとときを過ごし、大盛り上がりの中で幕を閉じました。



EBI-LOG エビ・ログ

こんなことがありました



12.7 女性の活躍推進事業所を表彰

ライフスタイルに合わせた柔軟な勤務体制づくりや、男女が共に働きやすい職場環境作りに取り組んでいる「(株)レムブランドホテルマネジメント レムブランドホテル海老名」と「(株)小田急SCディベロップメント ビナウォーク海老名営業所」を表彰しました。



12.14 市消防本部の新ロゴマークをお披露目

市内中学生が作ったロゴマーク入りの新しい活動服を披露しました。お披露目式のほか、応募があった小・中学生の全作品を展示。ほかにも消防演技やはしご車乗車体験、ビンゴなどが行われ、多くの人が笑顔で楽しむ様子が見られました。

